

自治研修あきた

No.69

発行 平成26年7月
発行者 秋田県自治研修所
TEL 018(873)7100

「新規採用職員前期研修を終えて」

秋田県自治研修所長 藤井 一徳

現在の研修所がオープンした平成7年から2年間勤務して以来、2度目の研修所勤務になりました。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も3ヶ月が過ぎ、新規採用職員も各職場での重要な戦力として活躍しているものと思います。新規採用職員前期研修では10を超える課所の職員に講師になっていただき、講師の皆様への周到な準備と熱意あふれる講義に感謝しています。以前は紙の資料だけだったものが、パワーポイント中心になったのは当然のこととして、議会事務局や情報企画課ではDVDを、税務課は模擬紙幣を利用していました。「県職員一人ひとりが広報パーソンとしてあらゆる機会をとらえて情報発信を」と言われ続け、県議会をはじめ様々な場面では常にわかりやすい説明を求められていた身からすると、理解しやすくするための工夫をしていることに感心しました。

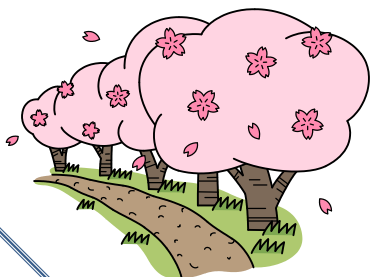
新規採用職員研修は当研修所における最も重要な研修ですが、公務員としての人材育成という面では、単なる第一歩でしかありません。研修後は、毎日の業務を通じた人材育成こそが中核であり、所属長、班長、ブラザー・シスターに指定された先輩職員がOJTで行う指導や、助言の比重が大きくなります。

企業内で成功した人と失敗した人の差は、入社時点の能力差や職務内容ではなく、最初の職場で誰と働いたかという点が大きく、成功した人は、新入社員からプラスの評価を受けた上司や先輩と一緒に働いたケースが多いとの人事管理に関する調査結果があります。新規採用職員を受け入れた職場では、OJTに力を入れることはもとより、日常業務への取り組みがその対象業務の成果だけではなく、次世代の職員の成長を促し、県や市町村の力を強くすることにもつながるということを心にとめていただきたいと思います。

我々の仕事の成果は事業費の大小によるものではなく、いかに効果的な施策・事業を展開するかであり、それを生み出す職員の能力にかかっています。

当研修所が職員の能力向上のために実施している研修は、職種や業務内容が異なっても各職場で共通的に必要不可欠な能力、業務の中で生かせるヒントや手法を効率的に学ぶものが大半であり、実際の各職場にあわせてカスタマイズしたり、実践しなければ意味を持ちません。

ぜひ、時間とお金がかかっている研修成果を宝の持ち腐れにしない努力をお願いいたします。



～研修ルポ～ 自治研修所で実施する研修のひとコマをご紹介します。

新規採用職員前期研修

第1回



第2回



第3回



第4回



新規採用職員研修は、新規採用職員のみなさんが公務員として必要な心構えと基本的事項を学び、早い段階で職場に適應することを目的として実施しており、新年度最初に実施する研修です。

平成26年度は、平成26年4月21日から5月30日の期間中、4回にわけて実施し、県職員102名、市町村職員181名、団体等職員12名、合計295名が受講しました。

職員としての基礎知識のほか、仕事に対する心構えや取り組み方、基本となる接遇・ビジネスマナーなど、県職員で5日間、20科目からなる研修の様子の一部をご紹介します。

知事講話より

先の読めない時代、厳しい時代といわれる今日、公務員としてスタートを切った皆さんに、知事から熱いエールが送られました。



○非常に厳しい時代。熱意・やる気を持つのは当たり前。今ある現状を真正面から捉える冷静な観察力と将来を見据える洞察力を持ってもらいたい。

○若干生意気でも言うべきことは言う。それも徹底的に調べ上げ、知識を仕入れたうえで疑問を投げかける。小さなことからでも改善する。実践する。そういうことが大事である。

○若さにはたくさんの可能性がある。足元をよく見て、地域社会の一員として、厳しい中にもやりがいを感じて頑張してほしい。

《仕事の進め方》 組織や仕事の意味を理解し、効率的に仕事を進めることができるよう、教育ゲームなどを通して学びました。

◆受講者の声◆

- 情報共有と情報整理の難しさを知った。
- 情報共有の大切さを身をもって感じる事ができた。
- 報告・連絡・相談を徹底して、情報の共有をすることで、業務の円滑な遂行に繋げたい。



※新規採用職員後期研修は、10月に実施されます。今よりも、ひと回りもふた回りも大きくなった皆さんにお会いできることを楽しみにしています！！

3年目職員研修

平成26年度3年目職員研修が、平成26年6月10日から27日まで、6回にわけて行われ、県職員103名、市町村職員133名、合計236名が受講しました。



《研修のねらい》

職場に隠れる潜在的な問題を発見する力を身につけよう！

《研修概況》

この研修では、職場に隠れている問題や、問題の真因を探る「問題発見力」と解決に向けた働きかけを行うスキルを、グループワークやロールプレイを通し実践的に学びました。

講師自らの経験談も交えた講義と仕事の現場をテーマとする内容は受講者にも好評で、たいへん充実した研修になりました。



◆受講者の声◆

- 職場や業務の「あたりまえ」を見直すことに活用したい。
- 職場の改善点や仕事の進め方を見直す良い機会だった。
- 自分の視野の狭さを痛感した。
- 視点を変えることで異なる見方が生じることを学んだ。
- 住民にとって1番よい方法が考えられるようになりたい。
- 現場では、様々な着眼点から見ることを意識したい。



※研修では、積極的な発言や活発な討議が行われ、採用から3年が経過し大きく成長した皆さんを、とても頼もしく感じました。研修で得た知識やスキルを、是非職場で活用してほしいと思います。

～自己啓発のすすめ～ 研修所図書室から

もしあなたに、自分自身を変えたい、変わりたいという強い欲求があるならば、それはエネルギーとなり、放っておいても成長につながっていきます。

しかし、変わるためのヒントが自分の引き出しになかったとしたら…変わる速度も方向も、大きく違ってきます。

本との出会いでなりたい自分に近づけるのか？

「本」を読むことは、一番身近で、簡単な方法です。

1冊の本との出会いにより、仕事の壁を越えられたり、価値観を大きく揺さぶられたり、生き方に影響を与えてくれることもあるでしょう。本から得た知識や言葉は、自分の中にゆっくりと浸透し、新しい引き出しを用意してくれます。

迷っている時、心に引っかかることがある時、ヒントを求め、本を読んでみてはいかがでしょうか。

時間をなんとなく消費していませんか？本を読むための時間の作り方を紹介します。

■ながら読書

オーディオブックを活用して、家事やスポーツをしながら読む。

■あえて読書

空き時間ではなく、1日30分限定で、読書の時間をつくる。

■すきま読書

常に本を携帯し、昼休み時間などちょっとした空きいたら読む。



図書の出貸案内

皆さんの元へ、無料で本をお届けします。

～県職員には図書の出貸しをしています。



■図書貸出申込書を提出してください

○ひとり3冊まで貸出し

○貸出期間21日以内

研修所図書室には「なりたい自分」に近づくための本をとりそろえています。

■人間関係が良い自分に

■最高のパフォーマンスをあげられる自分に

■段取りが良い自分に



編集後記

平成26年度第1号となる自治研修あきたNO.69をお届けします。

桜咲く頃、新規採用職員前期研修に始まり、すでに季節は夏。研修所は、今、一番忙しい時期を迎えています。

研修体系も一新し、研修が受講者の方々の新しい気づきや発見の場となることを願いつつ、そんな研修所のひとコマをこれからもお伝えしていきたいと思います。

(教務班 渡辺)

読むことで、

なりたい自分 に！

～仕事の悩み、自分の生き方、探していたヒントが見つかる

